

いく訳ですわね。

それは宗教というものにしてもそうすわね。その組織の中で、少しでも人より良くなるうという心を持つてしまう。使つかいようによつてはいゝかもしれませんけれどもね。人間というものは、どうしても、人を蹴落けおとしてやろうとか、沢山集たくさんあつまつた人を利用りようして、金を儲もちけようと考える。それから、

一、自分の暮くらしが良くなりたいい。

一、家族かぞくの不調ふちょう和わを、調和てんわしたいい。

一、病びやう気きをしているので、何なにとか治なしたいい。

一、家庭けいたいの中ちゆうは、子こ供ごと上う手てくいかないんだけれども、何なにとかならないだらうか。

一、良よい学校がくに入いりたい。

一、良よい人と結けつ婚こんしたいい。

——こういうような事を考かえる。

中ちゆうには、選せん挙きよで当とう選せんしたいという人もいる。これはこの前、私わたしの処に相そう談だんに来た、或ある議ぎ員いんさんがいるんですわね。

一四、ある政治家の相談

「どうされましたか？」

「先生、私はね、今度当選出来るでしょうか？」

——当選とうせん出で来きるでしようかつて、言いわれてもねえ……。(笑)

「あなた、当選するつもりでやつてるんじゃないの？」

「いやそれが、実はまずい事に、選挙前に、みんなに商品券しょうひんけんを配くばつたのが分かつてしまいい、それで、告示こくじになる前にそれを回収かいしゅうしてきたもんですから……」

「何でそんな事したの？」

「いや、前回やつた人と違つて、今度新しい人が来て、分からなくて配つたんですよ」「分からなくてやつたつて言うけど、あなた、知つていて、やつてたじゃないの——」

「……………!!」

「あなた、どうしても今期当選したいの？」

「はい」

「あなた、何回目なの？」

「はい、三回目です」

「当選したいっていうのは、あなた、三回当選しなかったら、恩給か何か、付かないから言ってるんじゃないの？」

「……………」

——そうなんです。どうしても当選しなきゃいけないんですね。私はそれを聴いて吃驚してしまっただけですね。

大方、政治をやる人というのは、そういう人が多いんじゃないでしょうか。

そのようにね、何回やっても、「自分が当選出来ないかな」、「何とかならないか」と、みんなそんな事を考えている訳ですよ。

そして、「私が死んだ後は、私の後を継いでくれる人は誰だろうな」、「死んだ後はどうなるのかな」と、みんな思う訳です。

私も、「人間とは……」と、やっていましたから、お墓というのは、何かあるんじゃないのかと思ったり、死んだ後は、お墓に行くぐらい思っていた訳ですよ。

ところが、実際は違うんですね。

皆さんの中でね、死んだら自分はお墓の中に行かなくてはいけないと思っている人は、即刻それを捨てる事——。

——「一五、縁とは約束事」に続く